

授業イメージ案

	中学校
教科・領域等	数 学
単元名	4 章 図形の性質と合同 三角形の内角の和
対象学年	2 年
実施場所	教室
I C T 活用の内容	<p>授業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対頂角，平行線の性質をもとに，三角形の内角と外角の性質を見いだすことができる。 ・ 三角形の内角の公式を用いて角度の計算を行うことができる。 <p>授業の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 三角形の内角の和が 180° であることを確認する。(小学校で既習) 2 三角形の内角の和が 180° であることを、対頂角や平行線の性質を用いて証明できることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ あらかじめ、上の内容を動画的に見せることのできるパワーポイントを作成しておき、それをコンピュータとプロジェクターを利用してホワイトボードに提示する。 3 パワーポイントの内容を用いて証明を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ プリントを用意しておき、そこに証明を書き込めるようにする。 ・ 振り返りができるよう、プロジェクターにはパワーポイントを連続的に流しておく。 4 証明した結果を用いて問題を解く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題をホワイトボードに提示し、ヒントをその提示した問題の上から書き込む。 5 解答を行う。 <p>I C T 活用のねらいと授業での位置づけ</p> <p>証明の参考にするために、動きのあるパワーポイントを見せることで、授業に集中させ、さらに、理解への効果的な働きかけを行えると考えた。また、問題を板書する時間を減らすことができるため、より多く生徒に接し、活動を行う時間を設けることができると考える。</p>
活用する I C T	パソコン、プロジェクター、ホワイトボード、プリント